



日本鋳物中子工業会
会長 □冨田 重春

の動きとしては、IoTやAI等のデジタルトレンドや自動運転、3Dプリンタや新素材等の開発をはじめとする第4次産業革命の実現に向けた動きの加速が感

ごあいさつ

会員及び賛助会員の皆様、平素は当会の活動にご協力、ご賛同頂き御礼申し上げます。

昨年は、皆様にとってどんな年だったでしょうか？イギリスのEU離脱、トランプ氏のアメリカ大統領就任など、予想に反する様な結果が多く、これらが為替、株価に大きな影響を与えております。また、昨今

じられます。このような世界的な動きの中で我々の顧客である製造業者様方は確実に変革を求められております。我々中子メーカーも対岸の傍観者とならない様にしなければなりません。

あまり良い材料が見当たらない昨今ですが、各企業様におかれましては、独自の構想を持って経営力の強化に取り組んでおられると思います。しかしながら、直近の問題として、人材不足及び原材料の高騰など苦しい材料ばかりで経営者としては悩ましいばかりであります。まずは企業としての経営力の強化を実施していかなければなりません。当会が弊社を含めた会員の皆様の経営活動の手助けができる様これからも活動をしてまいりますので、当会の活動にご協力、ご賛同をお願い致します。

最後になりましたが、当会の会員の皆様方のますますのご発展とご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

(一社)日本鋳造協会角田専務理事総会来賓ご挨拶

景気に関して厳しいという事がわかる、対前年比でマイナス生産と言える、FC関係にしまして価格の低迷も実態としてある。スクラップも安いのでなんとか持っている。中小企業庁も価格転嫁に積極的に説明会を開催しているので少しでも適正な転嫁をしていただきたい。下請法改正をしていて、人件費のアップについて適正な改正をしている。人手不足で人件費を上げていく必要もある。協会としては取引の改善のほかに新鋳造産業ビジョンを今年度中に策定して公表すると仰っていました。IoT、海外展開といった事が今後のキーワードになり中子は重要な部品でありますのでぜひ皆さん方にも10年後も生き残り共に生きていきたいと思います。

【下請代金の支払い手段について】

<http://www.jftc.go.jp/shitauke/legislation/saito.html>

【下請等中小企業の取引条件の改善に向けて】

<http://www.jftc.go.jp/shitauke/oshirase/torihikikaizen.html>

下請法について会員からの意見

会員より寄せられた意見をご紹介します。次回の常任理事会で話し合いたいと思います。

□中小企業庁が下請法の運用を強化するとの話を聞き、講習会に参加して参りました。運用強化内容としては、金型の保管コスト、量産品が補給品に変更となった後の単価改定検討、買い叩き禁止、指値発注禁止など、私共の業界にとっては非常にありがたい内容であったのですが、講習会終了後に講師の先生と話をしていたところ、私共のような中子業者は本法の適用対象外となるそうです。間違いではないかと思ひ、公正取引委員会に電話をして業務内容と鋳物業者との取引関係を説明しても同様の回答でした。運用強化内容が中子業者にとって該当する項目が多く、またそもそも下請法が「立場の弱い下請業者を守るための法」であるにも関わらず、私共は適用の範囲外と言われたことは大変残念です。

三重県シェルモールド工業会 定期総会



(左)田代会長 (中央)瀬古広報担当理事
平成29年2月17日 桑名市民会館

(一社)日本鋳造協会より

一般社団法人日本鋳造協会より平成29年2月1日付で「健全な取引ならびに安定供給に向けたお願い」が発せられた。

電力料金の全国的な値上げ、スクラップや鋳物用銑鉄など相次ぐ原材料価格の上昇、人材確保のための労務費増など当業界を取り巻く環境は非常に厳しさを増しており、鋳造業界の深刻な実状をご理解いただき格別のご配慮を賜りたいという内容でした。

定時総会・工場見学会を開催

第23回日本鋳物中子工業会定時総会を昨年1月4日北海道札幌市にて開催。今回、正会員24社35名、賛助会員9社13名の合計49名の方が参加されました。

冒頭の会長挨拶では、初めての北海道での総会開催、今後少子高齢化に向けて自動化や設備、材料の変更などあらゆる手段を使い進化して時代に取り残されないようにしたいという思いを語られた。特に若い世代は色々な勉強をして実際に見て勉強をし、活発な議論をしてほしいと述べられた。今までの50年と今後の50年は違う、人手不足、労働力不足が出てくる、いいものが安くできる工夫を如何にしなければいけないか、企業は小さくてもダイヤモンドの様に輝けなければ良い。皆さんが欲しいものを作る、その技術ノウハウが欲しいなどお客様に思っていたるようにしていきたいと、意気込みを語られました。

総会前には工場見学会として、鶴巻工業株式会社様と株式会社村瀬鉄工所様へ工場見学させて頂きました。鶴巻工業株式会社様ではダクタイル鋳鉄異形管、ダクタイル鋳鉄押輪、上下水道用各種鋳鉄異形管及び繋手等の生産を見学しました。鋳型造型から仕上げ、加工、粉体塗装、検査まで見学させて頂きました。株式会社村瀬鉄工所様では主に上下水道用ダクタイル異形管、耐震用ダクタイル鋳鉄異形管(NS・GX形)工業用水用・ポンプ用ダクタイル鋳鉄異形管を生産されていました。注湯作業を見学させて頂きました。両社ともに細部まで説明して頂き、質問にも回答いただき感謝にたえません。とても有意義な見学となりました。



鶴巻工業株式会社様工場見学の様子



株式会社村瀬鉄工所様正面



日本鋳物中子工業会定時総会
北海道ホテルマイステイズプレミア札幌パークにて開催

事務局から

■現在の正会員数83社、賛助課員19社である。事業計画は大きく変更はないですが、今回の定時総会、見学会が主行事計画の一部であると報告がありました。3月と7月には常任理事会を開催予定です。会員訪問は現在計画中です。

■技能実習生制度の扱いを検討しています。情報提供は松下副会長まで宜しくお願い致します。

◆編集後記◆

会員の皆様のご意見・ご希望をお待ちしています。又、年会費の納入をお願い致します。

事務局